



Be a gift to the world

2015-16年度 国際ロータリー第2790地区(千葉県)

ガバナー月信

地区行動目標：原点を知り、考える

2015年 10 月号

発行／2015年10月1日 VOL.4
COPY FOR MEMBERS

経済と地域社会の発展月間



ロータリー平和フェロー第14期生 Ida Suraya Klintさん(出身国デンマーク)と／9月5日 東京神田学士会館にて

中核的価値観とはどういう意味だろう？

「中核的価値観」という言葉を知ってますか？では「ロータリー戦略計画」はどうでしょうか？これらの言葉を知っている人はロータリーへの興味を持ち、意識が高い人だと思います。しかし、もっと多くの人に知ってもらいたい言葉でもあります。

ロータリーは従来は五大奉仕を中心に「奉仕活動」を軸にして活動してきました。世界の景気上昇に乗ってクラブ数も会員数も増えました。それはそれでよかったのですが、ロータリーという組織そのものを考える機会は多くはありませんでした。そこに1990年代の世界の景気下降による会員数の減少傾向が見え始め、それに危機感を覚えた国際ロータリー(RI)は「ロータリー」自体を検討する事を始めました。

2009年には世界中の数千人のロータリアンを無作為に選んでロータリーの未来像のアンケートを取りました。その結果、今後の方針として1. クラブのサポートと強化 2. 人道的奉

仕の強化 3. 公共イメージと知名度の強化をして行くことが望ましい という結果が出ました。これを柱としてロータリーが将来にわたって繁栄するための具体的な方策を次々に立案しました。この未来の繁栄への具体策が「戦略計画」です。そして、その戦略計画の基本的な精神とでも言うべきものが中核的価値観5項目です。国際ロータリーはこれを行動の軸として力強く動き出しています。

さて翻って我々のクラブではどうでしょうか？この10年、20年の間に会員は増えているのでしょうか？それとも減少？ クラブ自体を分析して対策を取っているのでしょうか？ ロータリーの未来とは個々のクラブの未来です。皆さんのクラブも真剣に「クラブの戦略計画」を立てる時期ではないでしょうか？

国際ロータリー第2790地区
2015-16年度ガバナー櫻木 英一郎
(千葉RC)



権限委譲…ガバナーはRI会長の代理役

国際ロータリー第2790地区
2015-16年度ガバナー 櫻木英一郎
(千葉RC)

■エレクトとノミニーの違いは？

規定によるとガバナーは就任の前36～24ヶ月の間に選ばれることになっています。その間に選ばれた人も、就任直前のエレクトも含めて本当はガバナーノミニーです。ノミニーは「名前が挙がった人」、「ガバナー予定者名簿に名前が載った人」という位の意味でしょう。でもみんながノミニーだと判りづらいので順番によって呼び名を変えました。昨年度、私がエレクトだった時、青木さんがノミニー、寺嶋さんはデジグネートと呼ばれました。また、エレクトとは…選挙された人という意味です。我が地区ではガバナーは指名委員会の指名で決めるので青木エレクトを選挙した記憶はありません。では何故青木さんはエレクトと呼ばれるのか？

■なぜエレクトか？

それは国際大会で選挙されるのです。毎年5～6月に開かれる国際大会で世界中の530人余のガバナーエレクトが皆さんのクラブの信任状を票として、就任予定者のノミニーを次々年度のガバナーとして選挙（エレクト）するのです。昨年度、6月当時にエレクトだった私が地区内のクラブの信任状を纏めてブラジルのサンパウロに持参し、当時のノミニーを次々年度の16-17年度ガバナーとして選挙（信任投票）して来ました。青木さんも選挙された一人です。だからエレクトなんです。実際には翌月の7月からエレクトと呼ばれます。

■エレクトと呼ばれるまで

さて日本全国の34人のエレクトは9月と11月に東京で各2泊のガバナーエレクト研修セミナー（GETS）を受けてガバナーになる基礎勉強をします。次に翌年1月にサンディエゴの国際協議会に出席します。世界中からエレクトが集まります。GETSと国際協議会に出席する事がガバナーになる為の要件です。ほぼ全員が配偶者同伴で、エレクト夫婦はGETSと

国際協議会でロータリー全般の勉強、RIの現状や今後の方針や大きな流れ、そして自分の年度のRI会長の基本方針を学びます。エレクト年度が終わって7月にはガバナーに就任します。

■地区はRI

ガバナーという役職はRIの役員ですから、RIの体制側、執行側の人になります。その役割は自分の地区内にRIの方針を浸透させ、クラブを活性化させることにあります。つまり、地区の組織はRIの方針を具体的に実践するためのものであり、RIの出先機関です。出先機関だからガバナーと地区組織はRIの方針によって動きます。地区はRIの方針が全てであり、独自の意思決定をする為の理事会はありません。逆を言えば地区はRIの方針のもとでの具体的な運営は全てガバナーに一任されていると言えます。

■委員会の意味

ガバナーはその役割を遂行する為に地区に各委員会を置きます。ガバナー一人で全部は出来ないのがガバナーに代わって色々な部門を引き受けてもらうのが委員会です。これはガバナーの権限委譲で、委員長はその部門ではガバナーの代わりであり、ガバナーの方針の下での最高権限者です。ガバナーはRI推奨の常設委員会の他に自らの役割を遂行する為の委員会を自由裁量で設置します。こうしてRIの方針を地区内に広める活動を展開します。

■ガバナーはRI会長の代行者

言い換えれば、ガバナーはRI会長から自分の地区の運営を任された存在であり、地区内でのRI会長の任務代行者です。これもRI会長から地区運営の権限委譲を受けたものだと考える事が出来ます。地区の諸会議、地区大会などはRI方針の下でRI会長の代行者たるガバナーの招集の元で行われます。

IMを終わって

第1分区ガバナー補佐
醍醐 誠一
(浦安ベイRC)

第一分区のIMは7月23日にオリエンタルホテル東京ベイにて14:00より開催されました。

当日は当分区の関口PG（浦安RC）も参加され区内合計97名にて盛大に開催されました。

今回は年度スタート早々の事でしたので設営等に多少苦労はしましたが、櫻木ガバナーの解り易い講演「ロータリーをやさしく理解する」に参加者の一同が本当にロータリーの事を良く理解して頂けたものと感じております。

又懇親会では和やかな中、メンバー関係でのフラダンスショーなども披露させていただきました。

第一分区のメンバーが一堂に会しての楽しい懇親会を開催する事ができまして区内各クラブ間の親睦の輪が更に強くなったものと思います。

今年度のIMはガバナーが講師で年度初めにガバナーの意向をメンバーにお伝え頂き解り易い新年度がスタートできたものと思います。

結びに今回のIM企画運営にご理解、ご協力くださいました第一分区の各クラブの会長幹事の皆様、浦安RC直前ガバナー補佐の斉藤様、そして浦安ベイRCの皆様の協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



Intercity Meeting報告

第2分区ガバナー補佐
前田 昌男
(船橋西RC)

国際ロータリー第2790地区第2分区Intercity Meetingが2015年7月31日（金）船橋グランドホテルで開催されました。

今年度は年度当初の開催にも関わらず、区内ロータリークラブの会員、特に会長・幹事の皆様にはご苦労をお掛けしましたが、無事開催することができました。IMのテーマは「我がクラブの誇れるところと抱えている課題～そしてその解決方法は」としました。櫻木ガバナーのIM早期開催によりご自身の地区運営方針やロータリーに対する考え方を会員に直接伝えたいとの思いとの連動を考慮した結果です。私は以前から各クラブの現状、課題を区内で共有し、連携して解決することも重要と考えていました。

短時間ではありましたが、会長からクラブの置かれている実状、自分達の弱み（課題）を外に向けて示すことでクラブの更なる活性化への号砲となればと思います。区内の共通課題は会員数の低迷、会員を受け入れる研修体制の未整備、奉仕活動の強化などが挙げられます。これらは第2790地区の課題でもあるので、地区委員会とも知恵を出し合って取り組んでいくべきものと考えます。

櫻木ガバナーからは会長エレクト研修セミナーや地区研修・協議会での内容に加えて、ロータリーの理念・理論や地区行動目標についてご自身の言葉でやさしく（わかりやすく）お話し頂きました。私がロータリーに入会した時、先輩ロータリアンからは「例会に出席すれば、ロータリーがわかるよ」と言われたものでしたが、そんなことはありません。ガバナーの言われた「做う」～「疑問を持つ」～「調べる」～「考える」～「自分の理論を持つ」と言う学習・成長のプロセスの大切さを改めて確認できたことは良かったと思います。

この後開催予定のガバナー公式訪問で櫻木ガバナーと各クラブの忌憚のない意見交換を通してクラブの更なる活性化の実現に繋がればと考えています。

最後に、関係者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

インターシティミーティング 開催のお礼

第3分区分Aガバナー補佐 **山本 康昭**
(千葉西RC)

第3分区分Bガバナー補佐 **郭 福男**
(千葉緑RC)

2015～2016年度国際ロータリー第2790地区第3分区分A・B合同主催によるインターシティミーティング（IM）の開催に多くの皆さんに参加を賜りました。この紙面をお借りしてお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

本年度IMは櫻木英一郎ガバナーの唱える「ロータリーをやさしく理解する」を基本テーマに講演をされました。

櫻木英一郎ガバナーは各会員の皆様にガバナー自らのロータリーに対する考え方を直接伝える機会としてIMの基調講演の場を設けました。

地区内全分区分のIMでラビンドランRI会長のテーマである「Be a gift to the world」の解釈、櫻木英一郎ガバナーの地区行動目標である「原点を知り、考える」の意味、そして地区の活動方針を伝える機会として、講演されました。又、地区方針の一つである「ロータリーをやさしく理解する」と言う具体的な話をされ、そして公式訪問、三大セミナーと続き、ガバナー訪問で更に詳しくお話しするとのことと締めくくりました。私の感想では長く感じられない90分でしたが「ロータリーをやさしく理解する」このテーマ、皆様は如何でしたでしょうか。

更にガバナー公式訪問で理解を深めることを期待したいと思います。

このIMを主催するにあたり千葉西ロータリークラブそして千葉緑ロータリー両クラブで櫻木英一郎ガバナーの目指すIMは一体どのようなものなのか、又どのようにするべきか、事前に十分な打ち合わせを行いました。そして「ロータリーをやさしく理解する」を主テーマにすることとしました。

又、当日各ロータリーアンの皆様を迎えるにあたりどの様なおもてなしが良いのか？90分の講演はかなり長いので途中休憩が必要か？コーヒータ임は？予算は？プロジェクターの台数は？など会場が広いので綿密な打ち合わせが必要でした。

至らない点多々あったと思いますがロータリー精神でお許しいただきたいと思います。

結びに千葉西ロータリー山本康昭ガバナー補佐、藤崎泰裕幹事、両クラブの皆様にもご苦勞をおかけしました事厚く御礼申し上げます。

ロータリアンの皆様に幸多からん事をご祈念申し上げますとともに、お礼の挨拶とさせていただきます。

(文責 郭 福男)

IMの報告

第4分区分ガバナー補佐 **神子 恒**
(富津RC)

日時 2015年7月21日
13:00受付開始 13:30点鐘

場所 富津市金谷the Fish

参加クラブ 8クラブ

参加人数 113名

本間英一第4分区分ガバナー補佐幹事の司会・進行のもと、IMが始まり、櫻木英一郎ガバナーには「ロータリーをやさしく理解する」のテーマで講演いただきました。

他に地区職業奉仕委員会 斎藤豊久委員・佐藤信二委員、国際奉仕委員会 石井弘委員長・米良暁委員、梶原等地区幹事長・佐藤康弘地区幹事、野村進一直前ガバナー補佐・小野恒靖次期ガバナー補佐、研修委員会 堀内修一副委員長、研修リーダー山田修平パストガバナーのご参加をいただきました。

粛々と会は進み、ガバナーによる基調講演が始まりました。

ロータリーの生い立ちから始まり、ロータリーからライオンズクラブが分離した経緯、そして今私たちの活動するロータリー、その在り方、そしてなぜ今Be a gift to the worldが目標であるかの説明、目標を実践するロータリーアンであろうとの締めくくりでした。我々、第4分区分クラブ会員は、これからの公式訪問が待ちどしい思いです。何故ならば、ガバナーが語った熱さが体の中に宿り、今後自分のロータリー活動の最初の一步を踏み出す勇気を、その具体的な方法を語り合えると、実感した講演でした。

I Mの報告

第5分区ガバナー補佐
吉岡 諭史
(鋸南RC)

7月16日、南房総富浦ロイヤルホテルにおいて第5分区6クラブの2015～16年度のインターシティーミーティング(IM)を開催し、110余名の参加を頂きました。

本年度のIMは例年と異なり年度初めの開催となり第2790地区の中では2番目の早い開催となりました。

櫻木ガバナーの“ロータリーをやさしく考える”とのテーマでの基調講演で始まりました。そして向こう1年間櫻木年度における目指すべき方向性その意図するところを地区の組織図を示しながら大変解り易く述べられ90分間はあっという間に過ぎ去りました。

会員の皆さんも今までロータリーへのなんとなく霧がかって理解してたものが一掃されたと思われた方々も多かろうと存じます。

そして奉仕プロジェクト委員会の方々の懇切丁寧な説明もありこれより先、ますます委員会を巻き込み、活動を活発にしていこうとの思いが出てくると思われます。

後半の懇親会ではホストクラブである鋸南クラブのみなさん方の手作りの企画、演出によるアトラクションで大いにもり上がり各テーブルでの情報交換もにぎやかに行われ会員の交流も深まり有意義なIMとなりました。ホストクラブの皆様方には準備より開催の今日までのご協力を御礼申し上げます。そして本日で参集の会員の皆さまに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

I M 報告

第6分区ガバナー補佐
土屋 俊夫
(成田空港南RC)

実施日 : 平成27年7月30日(木)
場 所 : 横芝光町文化会館
出席者数 : 9クラブ 141名
(7月1日現在会員数226名)
出席率 : 62.3%

ガバナーによる基調講演についてはロータリー歴が短い会員ほど好評でした。ロータリーについて全体的に整理できた様です。各クラブ公式訪問の際、詳しい感想をお聞きしていただきたいと思います。

会場よりの質問があり、今回の内容に対してIMとして行なった意味を問われました。

回答としてはIMとしなくても良かったが、全員参加が原則のIMとすると分区として取組やすいのではないかと判断したとのことでした。

その点を踏まえ従来方式による各クラブ主体によるIMを第2回目として行う予定です。テーマは各クラブとし分区との関係、クラブ相互について議論していただきたいと思います。詳しくは会長幹事会にて話し合いをしたいと考えております。

今回のIMの目的には、ガバナーによる公式訪問の際ロータリーについての共有された認識を持ちたいとの意思があります。ですから公式訪問の際にはロータリーについて議論する基礎になれば今回のIMが有効になります。公式訪問の際にはぜひ活用していただきたいと思います。

当分区では平成28年1月14日(木)に第2回目のIMを予定していますが、今回のIMとも内容について連続性を持たせ今回のIMを無駄にさせないつもりです。

最後になりますが地区プロジェクト委員会の皆様ご苦勞様でした。ぜひ各クラブより例会での卓話依頼の受諾をお願いします。

I M 報 告

第7分区ガバナー補佐
黒田 幸一
(銚子東RC)

7月26日、日曜日に地区よりガバナー始め7名のご参加を頂き、総勢90名のロータリアンが銚子商工会館1階大ホールに集いIMの開催となりました。櫻木ガバナーと梶原地区幹事長には早めに来銚頂き、第7分区内4クラブの会長幹事との昼食会にもご参加頂き、懇親を深めて頂きました。ガバナーの話が中心でしたが、趣味の話で大変盛り上がりしました。IMは定刻どおり2時から開会し、銚子東RC星野幹事の開会の挨拶で始まり若きニューリーダー銚子東RC藤崎会長の歓迎の挨拶と続き私の挨拶の後、櫻木ガバナーから「ロータリーをやさしく理解する」と言う演題で一時間半にわたりロータリー全般についてプロジェクターを使って分かりやすく説明頂きました。参加したロータリアンも皆、熱心にガバナーのお話に聞き入っていました。ガバナーのお話をお聞きし、ロータリーは新たな時代が変わろうとしている事を感じました。講演終了後、第7分区の次年度ガバナー補佐・次年度ホストクラブ紹介に移り、鈴木勝彦次年度ガバナー補佐（八日市場RC）の挨拶そして八日市場RCの紹介をしました。そして地区奉仕プロジェクト委員会より嘉規委員長始め5名の参加を頂き、職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会の順に委員会のPRをして頂き、本日のプログラムは終了となり、銚子東RC釜谷会長エレクトの閉会の挨拶、そして点鐘で無事IMを終えることが出来ました。当日はガバナーへの質問をする時間を取る事は出来ませんでした。それはガバナー公式訪問時に各クラブで存分にして頂き、有意義なクラブ協議会にして頂きたいと思います。今回始めて、ガバナー就任早々のIM開催ということで最初は戸惑いでしたが、関係者のご尽力により何とか開催することが出来ました。感謝申し上げます。また、櫻木ガバナーには就任早々より地区内各地にわざわざ出向いて直接、ガバナーの思いを伝えて頂き、各クラブが本年度スタートする上で非常に有意義なことであると思います。改めまして感謝申し上げます。

インターシティミーティング 開催報告書

第8分区ガバナー補佐
篠塚 茂樹
(佐原香取RC)

平成27年8月2日、PM2:00点鐘。

正に猛暑の中、香取市佐原市内を眼下にするパレス大藤に於いて、4クラブ出席者57名、地区役員の皆様8名の参加を頂き会議、休憩をはさんで約3時間、終了後に4クラブ合同の懇親会約2時間にて大過なく有意義な一時を過ごすことができたと思っています。

例年ですと一定のテーマに沿ってテーブルディスカッション、又はパネルディスカッション形式で各クラブ会員混合にて行い、その意見を整理し、その場でテーブルリーダーが発表するという形式が多く行われてきました。

本年度は櫻木ガバナーから連絡があり、全分区のIMには御本人が講師として出席し『ロータリーをやさしく理解する』をテーマとして講演をしていただくことになりました。講演ではガバナーノミニーからガバナーエレクト、そしてガバナーとなるまでの研修セミナー、RIのサンディエゴでの国際協議会出席を経てガバナーになられる旨御説明がありました。櫻木ガバナーは地区方針として『ロータリーをやさしく理解する』を掲げ、又、行動目標として『原点を知り、考える』を提唱されました。講演後の質問で「ロータリーマークはなぜ歯車か」がありましたが、櫻木ガバナーは懇切丁寧に説明されておりました。当に『原点を知り、考える』を実践されていたと感銘いたしました。

櫻木ガバナーは「地区方針、目標」の重要な目的は会員の意識の活性化であり、それが地区の活性化に進展することになり、ガバナー候補が安定して続くことを望んでおられます。

以後予定されているガバナー公式訪問の際も上記の件を話題に意見交換をされるとのことですので、各クラブへのガバナー公式訪問が楽しみです。

I Mの報告

第9分区ガバナー補佐
伊藤 仁
(白井RC)

8月3日に、成田ビューホテルに於いて午後2時から第9分区のIMを開催いたしました。

ガバナーから、講演をいただいた後、6クラブ合同の懇親会を行いました。



I Mについて

第10分区ガバナー補佐
榊 隆夫
(柏西RC)

第10分区のIMは、7月17日(金)、柏市の「ザ・クレストホテル柏」にて、5クラブ総勢約140名の会員の参加のもと開催されました。

なお、このIMは、今年度の地区内分区のすべてガバナーの要請に応じて、従来の形のIMではなく、年度



が始まってガバナーの基本的考え方を、分区内の全会員に知っていただくために開催されたものです。

冒頭、ガバナー補佐である私が、このことを説明し、今回は、ガバナーのお話を聞いていただいて、この話をもとに、この後のガバナー公式訪問で、皆様のご意見、ご質問をガバナーと交換し合うという二段階の第一段階ととらえてほしい旨の挨拶をさせていただいて、IMを始めました。

ガバナーは、ロータリーの簡潔な歴史、ロータリーの基本理念、RIとクラブの関係、地区とクラブ、会員の関係等、また、ロータリーの五大奉仕部門の理念と目的を易しく捉え、それを、クラブの活動に、個人の実践的活動にどう生かすかを話されました。

理念が先行しがちなロータリーの活動をどう実践するか、易しく考えて、まず実践の一步を踏み出しましょう、ということだと理解いたしました。

年度当初にガバナーに直にお会いして、話を聞き、ガバナーのお人柄、その他を身近に感じる事が出来るということは、一年間のスタートとして、クラブにとっても、会員にとっても、この一年間どう活動するかの指針を持つうえで大きな要素となるものと思われます。

ガバナーと、地区と、分区と、それぞれの会員が、価値観、情報を共有し、相互に理解し合ったうえでスタートすることが出来るということは、何より必要なことと考えます。

I M報告書

第11分区ガバナー補佐
橋岡久太郎
(佐倉中央RC)

平成27年7月22日(水) 国際ロータリー第2790地区第11分区のインターシティミーティングがウィシュトンホテル・ユウカリに於いて開催されました。

2015-16年度初めのIMを行う事について、これを予定し各クラブへの周知やスケジュールの調整等々、会長、幹事の皆さまには各クラブへ持ち帰ってのお話などご苦勞された面もあったことかと存じます。

RI、五大奉仕、クラブと個人、ロータリーの基本理念、個人のあらゆる活動での奉仕、及びその方法。

細部にわたり具体例を示されながらの櫻木ガバナーのお話には、入会がまだ日の浅いロータリアンにはとても解りやすく、またロータリー歴が長い会員にとっても気持ちを新たにロータリー活動を行う事につながる有意義なご講演になりました。

懇親会は、櫻木ガバナーを囲み各テーブルにそれぞれ7クラブから1～3名ずつ着席し、普段なかなかお話出来ない他クラブの会員と懇談することができました。

アトラクションとしては、四街道ロータリークラブの大熊会員によるハワイアンソングで佐倉中央ロータリークラブの甲田会員がフラダンスを踊るというもので、和気あいあいと愉しく進みました。

年度が始まって間もなくのIMという事で手さぐり状態でしたが、櫻木ガバナーの思いが皆さまに広く伝わったと確信いたしました。



I M 報告

第12分区ガバナー補佐
杉浦 昌則
(松戸西RC)

2015年7月29日(水) 12時30分より、第2790地区第12分区では第1部の5クラブ合同例会に引き続き、第2部でインターシティミーティングが開催されました。

開催場所は、松戸市の松戸商工会議所の大会議室です。

IMのテーマは「ロータリーをやさしく理解する」です。今年度のIMは、地区全体に共通することですが、櫻木英一郎ガバナーが直々に各分区を訪問され、7月から8月にかけて、早い時期に各クラブの会員に、直接メッセージをお届けするというものです。

今年度地区行動目標として、「原点を知り、考える」があります。IMにおいて櫻木ガバナーの約90分の基調講演の骨子は、ロータリーの原点、つまりロータリークラブが生まれ、110年に亘って発展してきたその歴史や背景を学び、その意味するところを自らの思考に重ねることの大切さを述べていると思われます。

ガバナー基調講演では、地区幹事長の操作するパソコンによる、プロジェクターでのロータリーの様々な情報が提供され、又、RI会長のメッセージ「世界へのプレゼントになろう」にふれられ、ラビンドラ氏や国際協議会についての報告、又地区の進む方向や改革についての様々な問題提起がなされたと思います。

ガバナーの基調講演のあと今年度の新しいプログラムとして、地区プロジェクトチームによるPRタイムということで、地区職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の各委員からの挨拶と説明がありました。その前向きさのパワーが伝わってきます。又、当日のご来賓として、土屋亮平パストガバナーと、石井亮太郎パストガバナーからのご挨拶も頂戴し感謝です。

今回は、今期始まって間もなくのIMでしたので、12分区各クラブの会長・幹事はじめ全会員の皆様の、多大なるご支援ご協力をいただき、御礼申し上げます。

I M 報 告

第13分区ガバナー補佐
古谷 尊生
(野田RC)

2015-16年度ロータリー第2790地区第13分区インターシティミーティングは、当地区最初のIMとして7月13日(月)午後2時より野田市「ホテル グランボワ」を会場として、分区内5クラブ全員登録及び108名という多数のロータリアンのご出席もいただき開催する事が出来ました。

さて、通常IMは各分区単位の会員が一堂に会して、地域にあったテーマについて自由討論を行う集いであり、会員相互の親睦と交流の中でロータリー情報を伝え合い優れたロータリアンを養成する事を目的としておりますが、今回は、従来のIMと内容が変更されて、講師として、本年度櫻木英一郎ガバナーをお迎えし、90分にわたりご講演をいただきました。

今年度櫻木ガバナーは、RI会長ラビン・ドランのRIテーマである「Be a gift to the world」(世界へのプレゼントになろう)のもと、「原点を知り、考える」という地区行動目標を掲げ、「ロータリーをやさしく理解しよう」という事を地区方針の一つとして、3大セミナーを通して訴えてきております。

今回のIMのテーマも「ロータリーをやさしく理解する」ということで、年度初めに各地区ごとにIMを開催し、自ら講師として伝えたいという強い意志が感じられました。

長時間にわたるIMとそれに続いての懇親会にも殆ど席を立つメンバーは見当たらず、櫻木ガバナーの心意気が参加者みんなに伝わったような気がいたしました。

この有意義な会を糧として、分区内各クラブのさらなる発展を願うものであります。

最後に、長時間に亘るIMとそれに引き続いての懇親会までお付き合い頂きました櫻木ガバナーをはじめ、スタッフの皆様、地区奉仕プロジェクト委員会の皆様方に心よりの感謝を申し上げ報告といたします。

2015-16年度 国際ロータリー ゾーン1.2.3

第44回 ロータリー研究会

2015年12月1日(火)・2日(水)・3日(木)・4日(金)

ホテル グランパシフィック LE DAIBA

〒135-8701 東京都港区台場2-6-1

<http://www.grandpacific.jp>

付随プログラム

12月1日(火) ロータリー財団地域セミナー

12月2日(水) ガバナー会、GETS、メジャードナー午餐会、
ロータリー日本財団評議員会
規定審議会研修(14:30~17:30)

12月
2日

16:00~18:00 登 録
18:00~20:30 RI会長ご夫妻・TRF管理委員長ご夫妻歓迎晩餐会

12月
3日
1日目

8:00~ 9:00 登 録
9:00~10:20 開会セレモニー
10:20~10:40 休 憩 (コーヒーブレイク)
10:40~12:30 各種報告
12:30~13:30 昼 食
13:30~14:00 基調講演「世界へのプレゼントになろう」RI会長 K.R.ラビン・ドラ
14:00~14:10 ロータリーモーメント(心に残るロータリー体験)
14:10~15:40 第1セッション「日本のロータリー100周年に向けて」
15:40~15:50 休憩(ショートブレイク)
15:50~16:00 ロータリーモーメント(心に残るロータリー体験)
16:00~17:20 第2セッション「未来への懸け橋」
17:20~17:30 諸事お知らせ
~ 移 動 ~
18:30~20:00 希望晩餐会

12月
4日
2日目

9:00~ 9:10 ロータリーモーメント(心に残るロータリー体験)
9:10~10:30 第3セッション「財団補助金の実践報告」
10:30~10:50 休 憩 (コーヒーブレイク)
10:50~11:00 ロータリーモーメント(心に残るロータリー体験)
11:00~12:00 第4セッション「34地区の実践報告」
12:00~13:00 昼 食
13:00~14:00 記念講演「世界の中の日本」
熊本県立大学理事長 五百旗頭 真 氏(元防衛大学校校長)
14:00~14:40 オープンフォーラム
14:40~15:00 閉会セレモニー
15:00 点 鐘

「不易流行 ―ロータリーの来し方行く末―」

ロータリー理念研究委員会
島 正彦
(館山RC)

辞書によりますと「理念」とはすなわち「ある物事についてのこうあるべきという根本の考え」とあります。私は月信10月号執筆を担当するにあたり、表題にある2000-2001年秋元ガバナー年度、地区大会記念講演の音源に接する機会を得、その内容をご紹介しますことにより「ロータリーの理念=Ideal of Rotary」について会員の皆様と考えてみたいと思いました。講演者はRI2580地区パストガバナーでありロータリーに関する多くの著作を残された故佐藤千壽翁です。

さて「不易流行」とは「いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものをも取り入れていくこと」であり、さらに「不易」とはいつまでも変わらないこと、「流行」は時代々々に応じて変化すること、と訳されます。

千壽翁は、ポールハリスの「This Rotarian Age」の『ロータリーは宗教でもなければ修行に代わるべき何物でもない、それはただ古くからの道徳観を現代生活なかなずく職業生活において実践しようとするものだ』と言う言葉を引用し、ロータリーにとっての「不易」とは「つまりロータリーは職業人としての人を作るんだ、こういう人づくりという人間育成という理念まで変えていいとは言っておりません。」と説かれ、「流行」については「変えていい、どんな革新にも応ずると言っているのは、その時代に即した活動の仕方或いは規則そういうものでございます。」と断じています。さらに、「変えてはならない理念はやはり職業人の倫理でございます。」とも結論付けています。

続いて2000年当時の社会状況について、企業論理が優先される為に陥る企業倫理観の荒廃や、環境問題、貧困問題、格差問題、青少年非行問題などを挙げ、それら多くの問題に対処するためには「この社会構造を根底から作り直さなかったらロータリーの奉仕の理想なんてたって気休めの歌声になってしまふだろうと思います。もちろんこういう問題は企業ばかりでなくて国民全体の意識にかかわってきます。したがって国民全体の意識から改革していかなければどうにもなりません、その意識革命の先導役として企業経営者や専門職業人の果たす役割を、

我々はもっと真剣に受け止めなければならんと思います。」とロータリーの存在意義を説いています。

さらに、当時すでに普及していたインターネットや携帯端末のことに触れ、ロータリー誕生当時のフロンティア時代に似た、匿名性が高く専門性の高さゆえに新しい技術・知識をいち早く手に入れた者が他者に先んじて利益を獲得する時代の到来を予言し、その様な時代なればこそ職業奉仕の導く職業倫理の重要性で⇒があると訴えています。

続けて、「ポールハリスはあの当時『これからの事業経営とはのるかそるか、一か八かのような冒険では無い、関係するすべての人のすべての相手に対する公正で倫理的な行動でなければならない』と言っていますが、あれから70年経って今ロータリー100周年を迎えようとしている時に、ポールハリスの言ったおんなじ言葉を繰り返さなければならん。これはどういうことでしょうか。」と嘆き、またポールハリスの『遠い辺境の地を調査して住み良い世界を作ろうなどと考えるよりも、社員の心に灯をともし希望と活力を掻き立てることの方がより良い奉仕の道である。そして実業人がまず第一に考えるべきことは働く人々にとってその職場と家庭環境が確実にその人達に幸福をもたらすようにすることである。』と引用し、「これこそまさにロータリーの職業奉仕の原点ではありませんか。わたしは何十年経とうとこれは不易の経営理念だと思っております。人間愛に基づく職業倫理を棚上げしておいて、ただ資本の論理にだけ踊らされている、それでいいのだろうか。」と嘆いておられます。

この講演から15年経った現在、千壽翁の指摘された様々な問題がまさに現出し、場合によっては悪化している気がいたします、皆様はいかがですか。

参考資料

2000-2001年度地区大会記念講演

「不易流行 ―ロータリーの来し方行く末―」

第2790地区ロータリー理念研究委員会

海寶勘一（千葉西）、平山勝巳（千葉若潮）、

大内 啓（柏南）、島 正彦（館山）、松田泰長（成田）

会員増強の事例報告

RI Zone 2 ARC 田嶋 好博

1. 私の所属する RI 第 2760 地区の名古屋北ロータリークラブ（以下「北クラブ」と言います。）の会員増強の事例を報告し、皆様のご参考に供したいと思えます。

北クラブは 1959 年 5 月 21 日創立された RI 第 2760 地区の東名古屋分区で最も古く創立されたクラブです。過去 20 年間の会員数と平均年齢は、以下のとおりです。

年 度	1995 ～1996	1996 ～1997	1997 ～1998	1998 ～1999	1999 ～2000	2000 ～2001	2001 ～2002	2002 ～2003	2003 ～2004	2004 ～2005	2005 ～2006
会 員 数	115	112	110	111	113	106	107	100	102	92	94
平均年齢	62.0	62.4	63.1	62.1	62.6	62.1	66.2	63.9	65.0	65.6	63.6

年 度	2006 ～2007	2007 ～2008	2008 ～2009	2009 ～2010	2010 ～2011	2011 ～2012	2012 ～2013	2013 ～2014	2014 ～2015	2015 ～2016
会 員 数	97	94	91	92	88	88	91	91	93	98
平均年齢	63.6	65.6	66.5	65.5	65.5	65.5	65.5	64.5	65.1	64.3

会員数が 115～113 名の時期の平均年齢は 62.44 歳、88 名の時期の平均年齢は 65.5 歳と会員数が少ないほど会員の平均年齢が高くなり、退会者は年齢の若い会員が多いことを示しています。

2. 今年度まで過去 10 年間の入会者数は、以下のとおり 71 名です。

年 度	2006 ～2007	2007 ～2008	2008 ～2009	2009 ～2010	2010 ～2011	2011 ～2012	2012 ～2013	2013 ～2014	2014 ～2015	2015 ～2016	合計
入会者数	11	4	8	7	6	4	14	6	5	6	71 名

入会者の平均年齢は 51.54 歳で、30 代 3 名、40 代 26 名、50 代 35 名、60 代 4 名、70 代 3 名であり、そのうち退会した者は 26 名ですが、16 名は転勤が理由で後任者が入会していますから、実質的な退会者は 10 名です。70 代の入会者はいずれも 1～2 年の短期で退会しています。本人の希望で入会して貰いましたが健康が許さないようです。

3. 最近の入会に至る傾向は入会を勧誘してから 2～3 年たって入会することが多く入会までに時間を要します。北クラブは会員数が 80 名台に減少し危機感を抱き、長期的視野に立ち以下の取り組みを始めました。

- ① 歴代会長が会員増強を強調するようにしました。
- ② 地区幹事経験者をリーダーとする新入会員に対する研修と研修終了後の親睦を毎年続けています。
- ③ 会長、幹事が会員に積極的に声を掛けたり、いろいろな役割割りをお願いしたりしています。

その結果 2010 年から当年度まで 6 年間の新入会員の退会は、実質 3 名（その他 5 名の退会者は後任者の入会あり）にとどめることができました。またこの対策が既存会員の退会防止にも効果を発揮し、2014～15 年度は転勤・病気以外を理由とする退会がなく、その年度を転機に会員数が増加傾向に転じ、今年 9 月には 100 名を超え、予定通りであれば 110 名に迫る勢いです。

北クラブの現在の会員の年齢構成は、以下のとおりです。

年 齢	90 歳代	80 歳代	70 歳代	60 歳代	50 歳代	40 歳代	合計
人 数	2	10	28	17	25	16	98 名

40～50 歳代の人中心に入会を勧誘した結果、40～50 歳代の会員の活躍が目覚ましく、70 歳代の会員に代わって、50 歳代を中心とした世代の会員に円滑にクラブ運営を引き継ぐことが出来ています。

文 庫 通 信 (336号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー資料より

- ◎「社会奉仕委員会2013～2014年度事業報告集」 D.2650 2014 168p
- ◎「ロータリー社会奉仕事例集」 前原勝樹編 1976 229p
- ◎「ロータリーにおける『社会奉仕』の対象/決議23-34のタイトル」 鈴木一作 ー ー 5p
- ◎「ロータリー職業奉仕事例集」 前原勝樹編 1975 318p
- ◎「職業とロータリー」 菅生浩三 1993 18p (ロータリー随想 その周辺とともに)
- ◎「RI戦略計画と青少年奉仕」 南園義一 2015 6p (第7回国際ロータリー全国RYLA研究会)
- ◎「新世代奉仕RYLA」 田中作次 2015 10p (第7回国際ロータリー全国RYLA研究会)
- ◎「光り輝くロータリアン」 藤川享胤 2015 7p (D.2690地区大会記念誌)
- ◎「ロータリーとは？」 鈴木一作 ー ー 6p

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル 3 階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp> 開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

(公財)ロータリー米山記念奨学会ニュース (ハイライトよねやま186号)

～今月のトピックス～

- ・寄付金速報 ー 10月の米山月間に向けて ー
- ・理事会・評議員会開催報告 ー 新しい評議員を選任
- ・まもなく最新の米山月間資料が届きます！
- ・GETSで学友夫妻がユーモアあふれるスピーチ
- ・台湾学友会による日本人対象奨学金 第7期生が決定

【お知らせ】

- ◆2016年ソウル国際大会は、米山が熱く盛り上がります！
奨学生を連れて、なつかしい学友を誘って、ぜひご参加ください。
詳しくは、当会HPまで（順次、内容を更新してまいります）

トピックス詳細につきましては、下記アドレスにてご覧ください。
[http:// www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight186_pdf.pdf](http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight186_pdf.pdf)

《今月のピックアップ記事》

GETSで学友夫妻がユーモアあふれるスピーチ

ガバナーエレクト研修セミナー (GETS) が9月1～2日、都内で開催され、2日午後のセッション「ロータリー米山記念奨学会プログラム」において、小沢一彦理事長と岩邊俊久事務局長が米山記念奨学事業の現況報告を行いました。

つづいて「ロータリー学友からのメッセージ」のセッションでは、ネパール出身で第2590地区米山学友会会長のエソダ・バスネットさん (2011-12/横浜戸塚RC) と、そのご主人でネパール政府公式通訳者として活躍中のジギャン・クマル・タパさん (2008-09/横浜たまRC) がそれぞれスピーチを行いました。

夫婦そろって話し上手のお二人は、時折、会場の笑いを誘いながら、「ロータリーファミリーの一員になって、国に対する偏見が無くなり、社会奉仕に目覚めた」「民間交流の大切さに気づいた」と、ロータリーとの出会いで得たことを振り返りました。その思いを実践するように、4月25日のネパール大地震発生以降、夫妻で率先して現地への支援活動が続けています。そんなお二人に会場の研修リーダーやガバナーエレクトご夫妻の皆さんから、盛大で温かな拍手が送られました。

寄付者紹介（敬称略）

ロータリー財団寄付 年次寄付（マルチプル・ポール・ハリス・フェロー）



大倉 崇
(市原中央RC)
11回目



渡邊 幸一
(鎌ヶ谷RC)
7回目



飯合 幸夫
(柏西RC)
7回目



鈴木 秀承
(鎌ヶ谷RC)
6回目



水野 敬泰
(勝浦RC)
6回目



榊 隆夫
(柏西RC)
6回目



本村 政幸
(鎌ヶ谷RC)
3回目



樋口 宏次
(鎌ヶ谷RC)
3回目



川和 弘行
(柏西RC)
3回目



荒木 賢治
(柏東RC)
3回目



長濱 芳一
(鎌ヶ谷RC)
2回目



清宮 佳一
(柏東RC)
2回目



高本 拓司
(柏東RC)
2回目



徳永 昌子
(鎌ヶ谷RC)
1回目



小川 義則
(袖ヶ浦RC)
1回目

(ポール・ハリス・フェロー)



鈴木 貴志
(袖ヶ浦RC)

恒久基金（ベネファクター）



皆川 隆
(鎌ヶ谷RC)
1回目



錫田 政明
(袖ヶ浦RC)
1回目



櫻木英一郎
(千葉RC)
1回目

米山功労者



渡邊 幸一
(鎌ヶ谷RC)
21回目



大倉 崇
(市原中央RC)
16回目



鈴木 秀承
(鎌ヶ谷RC)
14回目



本村 政幸
(鎌ヶ谷RC)
5回目



樋口 宏次
(鎌ヶ谷RC)
4回目



鈴木 桂三
(柏西RC)
4回目

新ロータリアン（敬称略）



岩田 直人
(千葉RC)
ユニフォーム製造販売
6月8日入会



三井 徹
(富津シティRC)
産業機械製造
7月1日入会



西村 頼子
(八街RC)
住宅賃貸
7月1日入会



齊藤 清光
(鎌ヶ谷RC)
造園技能士
7月2日入会



渡邊 均
(鎌ヶ谷RC)
廃棄物
7月2日入会



本村 穰治
(鎌ヶ谷RC)
保険
7月2日入会



外口 宏
(千葉港RC)
通信事業
7月2日入会



桜井 隆宏
(成田空港南RC)
生命保険業
7月2日入会



楠 大吾
(習志野中央RC)
水道衛生工事
7月2日入会



原田 健夫
(君津RC)
給排水工事
7月6日入会



菅原 裕輔
(成田空港南RC)
ガラス製造業
7月9日入会



水堀 絹代
(八千代中央RC)
運送業
7月14日入会



富永 純志
(八街RC)
地方銀行
7月15日入会



長田 正博
(柏西RC)
新聞販売店
7月31日入会



伊藤 和己
(千葉港RC)
不動産業
8月2日入会



福田 昭浩
(茂原RC)
金融保険業
8月4日入会



猿田 真也
(茂原RC)
郵便事業
8月4日入会



高野 幸子
(船橋南RC)
フィナンシャルプランナー
8月5日入会



徳山 俊丈
(習志野RC)
歯科医
8月5日入会



石井 晶子
(柏東RC)
特別管理産業廃棄物
8月6日入会



夏海 剛
(佐倉RC)
損害保険
8月6日入会



木原 新二
(千葉南RC)
普通銀行
8月7日入会



湯浅 修
(船橋みなとRC)
スポーツクラブ
8月11日入会



申 彌子
(船橋みなとRC)
飲食店
8月11日入会



長谷川治夫
(鴨川RC)
教育コンサルタント
8月14日入会



秋山 智
(船橋RC)
普通銀行
8月18日入会



浅野 賢也
(船橋RC)
不動産管理
8月18日入会



竹内 石
(船橋RC)
不動産賃貸
8月18日入会



斉藤 明憲
(銚子東RC)
普通銀行
8月18日入会



麻生 博章
(新千葉RC)
商業銀行
8月19日入会



藤原 光
(木更津RC)
為替銀行
8月20日入会



井手 一幸
(木更津RC)
電話事業
8月20日入会



小部 正利
(木更津RC)
電力事業
8月20日入会



戸塚 有彦
(木更津RC)
商業銀行
8月20日入会



鳥越 隆
(千葉RC)
電話事業
8月24日入会



角川 真司
(千葉RC)
証券業
8月24日入会



武田富士子
(君津RC)
貨物自動車運送
8月24日入会



福田 順也
(君津RC)
給排水工業
8月24日入会



佐々木昭博
(君津RC)
看板
8月24日入会



貞金 浩正
(館山RC)
地方銀行
8月26日入会



鈴木 久夫
(千葉幕張RC)
複合機販売
9月1日入会



藤永 範行
(木更津東RC)
広告宣伝企画業
9月9日入会

R I 第2790地区（千葉）2015年8月出席・会員数報告

区分	クラブ名	出席率 %	例会 回数	会員数				
				7/1	女	当月	女	増減
第1区分	市川	100.00	3	39	0	40	0	1
	市川東	100.00	3	41	0	42	0	1
	市川南	82.78	3	16	2	16	2	0
	浦安	98.00	3	35	1	35	1	0
	市川シビック	84.48	4	36	0	36	0	0
第2区分	浦安ベイ	64.05	3	16	0	16	0	0
	船橋	86.97	3	23	0	27	0	4
	船橋西	91.36	3	41	7	42	7	1
	鎌ヶ谷	89.25	3	29	2	32	2	3
	船橋東	88.11	3	28	1	29	2	1
第3区分A	船橋南	87.50	3	14	2	15	3	1
	船橋みなと	89.06	3	17	4	19	5	2
	千葉	88.37	4	66	1	71	1	5
	新千葉	86.81	3	50	0	50	0	0
	千葉西	81.99	4	59	4	60	4	1
第3区分B	千葉中央	81.90	4	37	0	37	0	0
	千葉幕張	86.30	4	35	2	37	2	2
	千葉東	74.77	5	31	3	33	3	2
	千葉若潮	82.14	3	30	1	32	1	2
	千葉南	76.67	3	49	6	50	6	1
第4区分	市原	99.99	3	41	2	41	2	0
	千葉港	68.25	3	21	2	23	2	2
	市原中央	87.62	5	47	2	47	2	0
	千葉北	64.00	3	21	1	21	1	0
	千葉緑	72.78	3	25	0	25	0	0
第5区分	木更津	62.80	3	27	3	30	3	3
	上総	74.50	3	17	0	17	0	0
	富津	57.50	4	9	0	10	0	1
	富津中央	84.93	3	26	1	27	1	1
	木更津東	89.44	3	42	0	42	0	0
第6区分	君津	96.44	4	43	1	47	2	4
	袖ヶ浦	90.31	4	23	3	24	3	1
	富津シティ	71.10	3	14	1	15	1	1
	館山	77.74	3	56	3	56	3	0
	鴨川	89.19	3	33	7	34	7	1
第7区分	勝浦	94.40	3	33	4	36	4	3
	千倉	76.67	3	10	2	10	2	0
	鋸南	85.70	3	14	1	14	1	0
	館山ベイ	68.42	3	20	0	20	0	0
	茂原	88.45	3	64	3	66	3	2
第8区分	東金	94.58	4	22	1	22	1	0
	大原	78.33	3	12	1	11	1	△1

区分	クラブ名	出席率 %	例会 回数	会員数				
				7/1	女	当月	女	増減
第9区分	大多喜	77.77	3	6	1	6	1	0
	成田空港南	75.23	3	37	0	39	0	2
	茂原東	87.29	3	22	3	22	3	0
	茂原中央	83.33	4	13	2	15	2	2
	大網	78.89	3	29	1	30	1	1
第10区分	東金ビュー	86.70	3	20	1	20	1	0
	銚子	84.92	3	44	4	44	4	0
	旭	76.42	3	43	2	43	2	0
	八日市場	82.45	3	38	2	38	2	0
	銚子東	74.53	3	39	2	38	2	△1
第11区分	佐原	84.62	4	47	0	47	0	0
	多古	52.02	3	14	0	14	0	0
	小見川	85.87	4	22	0	23	0	1
	佐原香取	94.56	4	25	1	25	1	0
	成田	75.32	3	61	0	62	0	1
第12区分	八街	88.98	3	30	1	32	2	2
	印西	88.83	4	23	0	22	0	△1
	白井	67.39	4	23	0	23	0	0
	富里	75.99	3	27	0	27	0	0
	成田コスモポリタン	63.70	4	68	0	69	0	1
第13区分	柏	75.60	3	51	10	52	10	1
	我孫子	72.90	3	24	1	24	1	0
	柏西	87.50	3	62	5	63	5	1
	柏東	95.14	3	29	3	31	4	2
	柏南	80.00	3	33	4	33	4	0
第14区分	習志野	84.10	3	27	1	28	1	1
	八千代	90.33	3	46	0	46	0	0
	佐倉	63.12	4	18	2	21	3	3
	八千代中央	84.30	3	28	1	29	2	1
	四街道	82.71	4	23	2	25	2	2
第15区分	習志野中央	78.60	3	47	6	49	6	2
	佐倉中央	66.66	3	19	3	20	4	1
	松戸	87.10	3	57	0	59	0	2
	松戸東	95.45	3	46	0	46	0	0
	松戸北	79.58	4	37	0	37	0	0
第16区分	松戸中央	84.85	3	39	6	42	6	3
	松戸西	84.44	3	30	0	30	0	0
	野田	80.60	4	58	8	58	8	0
	流山	68.75	3	16	4	16	4	0
	野田東	81.46	3	31	0	32	0	1
第17区分	流山中央	81.92	4	22	2	22	2	0
	野田セントラル	75.00	3	24	0	24	0	0

クラブ数 84RC	2015年7月1日	地区会員数	2,711人	当月平均出席率	96.08%
	2015年8月末日	地区会員数	2,783人	増減	+72
	2015年7月1日	地区女性会員数	152人	女性会員増減	+9
	2015年8月末日	地区女性会員数	161人		

物故会員（敬称略）



片海 宣光（銚子東RC）
 逝去日：2015年6月26日（享年94歳）
 入会日：1969年3月5日
 ロータリー歴
 1977-1978 クラブ会長
 1978-1979 第7区分代理

10月のロータリーレート

120円

広報のひろば

みなさん、こんにちは。10月に入りすっかり秋になりましたね。行楽の秋・食欲の秋・読書の秋・奉仕の秋といろいろな秋がありますが、みなさんはどんな秋をお過ごしですか？

今月はフェローシップ委員会のご紹介です♪

Rotary Motor Cyclist Club of 2790 (通称 RMCC 2790) のご案内

今年度地区フェローシップ委員会ではクラブ間を超えての親睦活動としてツーリングを企画いたしました。みなさまのご参加お待ちしております。



日程：2015年10月23日（金）

行先：房総 館山方面

集合：館山道 市原S.A

10：00集合 10：30出発

*事前申し込みが必要です。

問い合わせ先：090-3202-9879

地区フェローシップ委員会 委員長 増谷

“相談窓口”のお知らせ



今年度、地区のホームページに地区管理運営委員会による“クラブの相談窓口”が設定してあるのをご存知でしょうか？

ロータリーの解釈に関することなどのご相談をお受けしています。ぜひご利用ください。詳しくは地区管理運営委員会までご連絡ください。

<http://www.rid2790.jp>

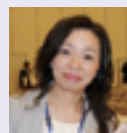


幹事長と委員長のつぶやき



増谷：今年度地区フェローシップ委員会ではツーリングの他にもいろいろな趣味の会のきっかけづくりをしていこうと考えています。

梶原：11月には“フェローシップ交流会”「山里歩き」を予定していますよね！！



大谷：ハイキング・カメラ・俳句・古寺などに興味ある方ぜひご参加ください！私も参加予定です！！



お気づきですか？

今年度、月信がMONTHLY LETTERからCOMMUNICATIONに変わりました。

このページは地区IT広報公共イメージ委員会で担当しています。何かございましたら気軽にご連絡ください♪

090-1453-5825 委員長 大谷京子
kyoko@ohkei.co.jp